

2020年度 自動車リサイクルの高度化等に資する 調査・研究・実証等に係る助成事業

事業報告会資料

事業名：NPO法人 RUMアライアンス

代表事業者名：代表理事 赤須洋一郎

発表者：プロジェクトリーダー 近藤高行

2021年10月21日

1、はじめに 事業概要

		内容
事業の位置付け・背景		自動車リサイクルという業種を知る一般の人は少ない。 自動車リサイクルの周知と同時に事業として営む者の存在を知っていただくことが必要であり、RUMアライアンス(RUM)は自動車リサイクルの現場を活用して自動車リサイクルの周知活動を展開する。
事業の実施内容		小中高生及び一般の方にリサイクルの現場を見ていただくと同時に、業界に工場見学受入の意義と効用を伝え、見学来訪者の増加を図る活動を3か年計画で実施する。
事業計画	2020年度	工場見学来訪者を増加する仕掛けと受入準備を整える。 ・見学動画をYouTubeに掲載する。 ・Facebookを使い拡散を図る。 ・見学希望者と受入企業の出会いのマッチングサイト(仕掛け)を設ける。 ・サイトの受入企業数20社目標。
	2021年度	・見学受入企業の広がり(50社)と来訪者を増加させる。 ・受入れする企業の担当者研修を行う。 ・初年度制作物の維持、修正と管理を行う。
	2022年度	・工場見学の受入企業100社を目標。 ・年間2万人の来訪者を目指す。

1、はじめに 事業概要 ①

- 事業の目標とその達成に向けたプロセスの概要

【事業の目標】

- ・ 全国の小中高生および一般の方に自動車リサイクルについて学ぶ機会を提供し、リサイクル事業の周知を図る。

【達成に向けたプロセスの概要】

- ・ リサイクル工場の見学過程を動画に作成しYouTubeに掲載する。
- ・ 見学希望者と受入企業が出会うサイトを創り、YouTube、SNSで訪問者を呼び込む。
- ・ サイト上の受入企業数の目標、1年目20社、2年目50社。
- ・ 3か年計画の3年目の目標は、受入企業100社、見学来訪者2万人。

1、はじめに 事業概要 ②

- 今年度事業の成果の総括

【成果と総括】

初年度はコロナ禍の中で、次の主要7項目①～⑦の取組を計画し当初計画より最大6か月の遅れはあったが、年度末まで持続する作業を除き完成することができた。

	2020年度主要作業7項目
①	自動車リサイクル周知分科会の開催。14回開催。
②-1 ②-2	工場見学受入調査を実施、サイト上のマップに17企業21工場を掲載。 受入工場の手引を制作し、感染症対策の動画とガイドラインを作成。
③-1 ③-2 ③-3	自動車解体処理現場の動画3本を制作。 見学希望者と受入工場の出会いのマッチングサイトを制作12月公開。 SNSに対象の世代を勘案しFacebookを採用し制作。
④	小冊子A5版12ページを完成。(2021年1月)
⑤	見学実績集計フォーム(月次)を制作。
⑥	見学受入担当者研修開催。(2021年1月)
⑦	月次報告、中間報告書、期末報告書など作成。

2、今年度（2020年度）事業実施結果 （1）工程表

作業項目			計画/実績	3月末 進捗率	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①	自動車リサイクル 周知分科会	提案時計画		100%												
		10月末計画														
		実績														
②	-1 工場見学受入調査 とマップ作成	提案時計画		100%												
		10月末計画														
		実績														
②	-2 受け入れ企業のマ ニュアル作成	提案時計画		100%												
		10月末計画														
		実績														
③	-1 WEB関係（動画作 成）	提案時計画		100%												
		10月末計画														
		実績														
③	-2 WEB関係（サイト作 成）	提案時計画		100%												
		10月末計画														
		実績														
③	-3 WEB関係（SNSとの 連携）	提案時計画		100%												
		10月末計画														
		実績														
④	来訪者小冊子作成	提案時計画		100%												
		10月末計画														
		実績														
⑤	各月見学受入実績 集計と回収	提案時計画		100%												
		10月末計画														
		実績														
⑥	受入担当スキルUP 研修	提案時計画		100%												
		10月末計画														
		実績														
⑦	その他	提案時計画		100%												
		10月末計画														
		実績														

2、今年度（2020年度）事業実施結果 （2）結果概要

①自動車リサイクル周知分科会の開催

開催数：2020年5月から2021年3月までに14回

進捗と作業の問題点を討議した。

②-1：見学受入企業調査（JAERA会員101社調査、回答47社）

すでに見学を受け入れている	・・・16社	
受け入れていたが現在中止	・・・15社	
これまで受け入れたことがない	・・・16社	計47社

②-2：来訪者受入の準備

「工場見学受入の手引き」作成

*感染症対応の姉妹資料

動画「5つのお願い」と「感染症対策ガイドライン」を作成
サイトの資料欄に収納した。

2、今年度（2020年度）事業実施結果 （2）結果概要

③WEBの3作業は次の通り進行した。

③-1：YouTube掲載動画3本を制作し10月YouTubeに公開した。

・動画の特徴とURL

<https://www.youtube.com/channel/UCUmsSSZ8Vzythrpom168fbQ>

【関東版・カーレポ(株)】（動画時間 予習編4:22、見学実施編7:11）

工場見学の予習編と見学実施編の二部構成。

手づくり的な要素で親しみやすい。

【北陸版・会宝産業(株)】（動画時間 8:43）

360度カメラによる見学者の目の動きを意識した画面作り。教材用を意識した。

③-2：見学希望者と受入れ企業の出会いを支援するサイト「自動車リサイクル工場見学紹介」を制作し、12月15日に公開した。

◎サイトのURLは、<https://www.recycletour.com/>

サイト上のマップの受入企業は、業界企業への調査（上記②-1）から受入中の16社に呼びかけ、8社9工場が加わり、RUM関係の9社12工場をあわせて、マップに合計17社21工場を掲載。

③-3サイトに呼び込むSNSとしてFacebookを採用し、10月に完成し公開した。

④見学受入れ準備として、小冊子「自動車リサイクルの話をしよう～私たちの現場から～」を2021年1月に完成し、受入企業に配布を開始した。

2、今年度（2020年度）事業実施結果 （2）結果概要

- ⑤工場見学受入実績を月次集計する様式を作成、受入れ担当者研修で今後月次での報告を確認した。

【2020年度の見学受入実績】

サイトの開設が12月15日となり、本事業で制作したマッチング機能の実用はこれからになり、次の2020年度実績は、従来の見学申込み方法になっている。

2020年度見学受入実績（RUM4社）：1668名（上期・520名、下期・1148名）

＊新設サイトによる実績の集計は新年度から開始する。この2～3月は試行中）

【初年度目標と見学受入達成度】

上記の経緯で、2020年度は仕掛けと受入れ準備はできたが、活用は次年度になった。従来の方法での目標対達成度は次の通りになる。

	目標	実績	達成率%
・見学者受入れ実績：	4000人	1668人	41.7
・受入企業（工場）：	20社	17社（21工場）	85（105）

- ⑥受入企業担当者のスキルアップ研修を1回（1月26日）開催、11社23名の受講があり、主催側3社を含め14社が研修に関わった。情報と意見交換の時間も設けた。

3、助成事業実施方法及び実施状況

② - 2工場見学受入の手引きと感染症対策ガイドラインの作成(一部抜粋)

自動車リサイクル工場見学

工場見学受入れの手引き



2020年12月
制作:
RUMアライアンス

新型コロナウイルス感染症 対策ガイドライン

2020年12月作成

NPO 法人 RUM アライアンス

本資料はRUMアライアンスが、会員企業で制作された資料を基に他の法人でも使える内容の一部変更を加えたものです。
自社の規模(組織)、事業範囲、社員の従業員の実情などを勘案して、自社用に役立つものに作成してください。
お役立ていただければ幸いです。事務局

目次

第1章 本ガイドラインの目的・位置付けおよび用語の定義	2
(1) 目的	2
(2) 本ガイドラインの位置付け	2
(3) 用語の定義	2
第2章 基本方針	3
第3章 コロナウイルス感染症の概要	4
(1) コロナウイルス感染症の感染症状	4
(2) 感染経路	5
第4章 予防・治療について	6
(1) 一般的な予防法・感染しないための注意事項	6
(2) 清掃・消毒体制・本部および事業所の防疫資材調達	7
(3) 勤務場所における感染者および感染の疑いのある者のトレスと隔離の方法	8
第5章 社内体制	10
(1) フェーズの設定と対応方針	10
(2) 社内組織及び体制	11
(3) 設置場所	11
(4) 設置基準	11
(5) 対策本部の構成と役割及び運営方法	11
(6) 新型コロナウイルス対策本部 本部長・副部長・各部の役割一覧	12
(7) 感染対応行動等の基準	13
(8) 感染発生時における海外出張者・駐在者に対する対応方針	14
第6章 本部および拠点・事業所のアクションプラン	15
(1) 業務継続のための基本的枠組みと各フェーズにおける継続業務	15
(2) 業務継続に関する確認事項	15
(3) 継続業務クロストレーニング訓練	15
(4) アクションプラン	15
第7章 教育・訓練	16
(1) 感染予防に関する社内教育	16
(2) 感染発生を想定した初期対応訓練	16
(3) 業務継続に係る訓練	16
(4) 教育・訓練の実施報告	16

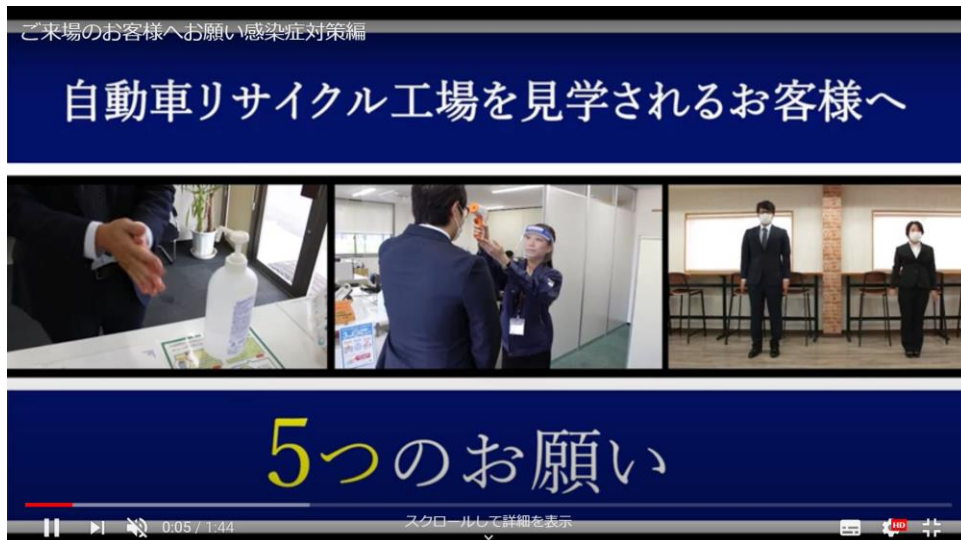
3、助成事業実施方法及び実施状況

②-2 受入企業のマニュアル作成

感染症対策動画の内容

- ①マスク、検温、消毒
- ②問診表の記入(2週間前からの体調)
- ③ソーシャルディスタンス
- ④見学時の整列
- ⑤体調が悪い時(見学前後の報告お願い)

感染症対策動画(一部抜粋)



1. マスク・検温・消毒



2. 問診表の記入



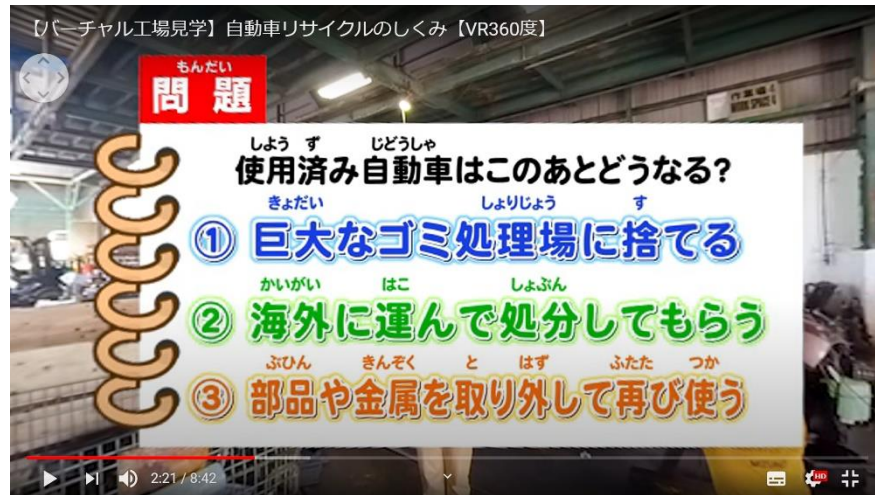
3、助成事業実施方法及び実施状況

③-1 WEB関係(動画作成)一部抜粋

関東版



北陸版



③-2新設サイト画面

自動車リサイクル 工場見学紹介

HOME 工場マップ 資料 お問い合わせ



トピックス

- 四国の「三木資源株式会社」が見学できる工場に加わりました！(2021.2.12)
- 東北の「株式会社永田プロダクツ」が見学できる工場に加わりました！(2021.2.8)
- 『資料』に小冊子「自動車リサイクルの話をしよう～私たちの現場から～」と「新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」を掲載しました。(2021.2.5)

自動車リサイクル工場の現場を尋ねるために - お役立ちサイト -

見学できる工場を探そう！工場マップ

工場見学プロモーションビデオ

自動車リサイクルって知ってる？

自動車のリサイクルについて自動車リサイクル工場の方に説明してもらいました。使い終わった車がどのようにリサイクルされるかを説明しています。

[Youtubeで見る](#)



自動車解体工場って行ったことある？

自動車リサイクル工場を見学しました。

[Youtubeで見る](#)



この「自動車リサイクル工場紹介」サイトは、自動車リサイクルの現場を見たい、（工場見学をしたい）と希望する方に、見学の受入れをしていただける企業を紹介するサイトです。

このサイトを使い、一般的な工場見学実施までの手順を次に紹介します。

- 1 希望する地域に受け入れる工場の有無を調べる。受け入れてくれる工場を探す必要があります。その際このサイトのマップが役立ちます。
- 2 地域を指定してクリックしてください。その地域にある企業のホームページと概要（所在地、連絡窓口）が紹介されます。
- 3 工場によっては、参加人数の制限、受入れ可能（不可能）な時期を設けているところがあります。（コロナ対応で変更回避の

③-2 サイトマップと工場情報の例

見学できる工場を探そう！

日本全国のマップから地方を選択すると見学できる自動車リサイクル工場が表示されます。

北海道 東北 関東 北信越 東海
近畿 中国 四国 九州・沖縄



全国工場マップ 北海道 東北 関東 北信越 東海 近畿 中国 四国 九州・沖縄

工場一覧 関東

カーレボ株式会社 ひたちなか工場



所在地
〒312-0005
茨城県ひたちなか市新光町552-55
常陸那珂工業団地内 [MAP](#)

年間10,000台以上の自動車をリサイクルしています。見学会では、重機二ブ
ラによる華麗なハサミさばきをご堪能いただけます。車体からエンジンを取り
出すシーンもぜひご覧ください。（エンジンって意外と大きいんですよ）



見学受入れ内容
[最大人数]30人 [受入時期]1月、5月～12月

電話でのお問い合わせ
経営戦略本部 ブランドマネジメント室
(本社) TEL 029-300-2525 小林または友部まで

[見学お問い合わせ](#)

自動車リサイクル 工場見学紹介

HOME 工場マップ 資料 お問い合わせ

全国工場マップ 北海道 東北 関東 北信越 東海 近畿 中国 四国 九州・沖縄

工場一覧 北海道

石上車輛株式会社 石上車輛恵庭工場



所在地
〒061-1364 北海道恵庭市下島松801-3
石上車輛恵庭工場 [MAP](#)

使用済みの自動車(廃車)を年間12,000台リサイクルすることにより地球環境
に貢献しています。
使われなくなった自動車が、どのように分解され素材別にリサイクルされる
か、その工程を詳しい解説を交えながら順番に見学することが出来ます。
二ブラ(巨大なハサミを持った重機)による解体実演、エアバッグの展開実演も
体験していただけます。



見学受入れ内容
[最大人数]120人

④ 小冊子表紙



④ 小冊子の内容

A4版、12ページ

タイトル：「自動車リサイクルの話をしよう～私たちの現場から～」

・目次

自動車リサイクルってなあに？・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

使用済みの自動車はどうなる？・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

工場見学してみよう・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5

産業とリサイクルの関係・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7

自動車リサイクルと私たちの未来・・・・・・・・・・・・・・・・・・9

世界の自動車を再資源化する・・・・・・・・・・・・・・・・・・10

・冊子を通して訴求する柱を小学生も学んでいるSDG s に絞り込んだ。

⑥ スキルアップ研修次第

2021年1月26日
Web会議システム ZOOM

工場見学受入担当者スキルアップ研修並びに意見交換会の次第

○はじめに

- ・研修に至る経緯のご説明
- ・本研修と意見交換会の目的

○研修の次第

1. 事例発表：株式会社 久保田オートパーツ（宮崎県）

10年以上前から工場見学を受入れ年間3,000名以上（2018年）の受入れ会社の事例を動画も含めて発表します。

- ・発表：西久保田オートパーツ

2. 工場見学受入の手引きの説明

見学を受入れている会社の事例をもとに3部編成で作成した手引きを説明します。

3. 見学時の感染症対応

With Coronaの下での感染症対策に対応した見学の受入れの事例を、動画と緊急に制作した感染症対策ガイドラインをもとに説明します。

- ・説明：カーレゴ

4. 見学来訪者に手渡す小冊子の説明

この度の高度化財団からの支援で制作した小冊子の説明とこれからの活用について意見交換します。

5. その他

- ・コロナ情勢とバーチャル工場見学の検討について（参加者と検討します。）

6. 担当者、関係者の意見交換会

以上

2、今年度（2020年度）事業実施結果

（3）事業実施効果／得られた知見

【実施結果を踏まえた考察】

（1）2020年度事業の効用

周知活動に必要な動画、サイトを設け、受入れ準備に必要な小冊子、受入の手引を制作し、加えて想定外の感染症対応の動画とガイドラインを作成した。

また、自動車リサイクル業界に協調して取組む事業の成果を小さいながら示すことができた。

①事業の有効性

- 動画：現場の動画3本制作、10月公開し、3月末までの視聴回数は3本合計2066回。
- サイト：マップの受入企業17社21工場、12月の公開から3月末までの訪問者は334。
- 見学受入サイトの工場数では17企業21工場は業界最大規模とみられる。
- 受入企業担当者研修で、新たに参加企業から感染症対応動画とガイドラインをすぐに使いたいとの要望があった。
- 小冊子は今後受入企業全社で資料とすることを研修で確認した。

2、今年度（2020年度）事業実施結果

（3）事業実施効果／得られた知見等

②事業の発展性

- ・ サイトの受入企業をRUM9社に加えて、新たに8社増加し、さらに現在コロナ禍で中止している15社にも今後呼びかけを続ける。また、業界の事業協組にも呼び掛けサイトの受入企業を充実する。
- ・ バーチャル工場見学時にオンラインによる説明を加えることにより、よりリアルな見学に近づけることができる。
- ・ 講演依頼の時にもオンラインの講話を設け、小冊子を資料に活用する。

③事業の効率性

- ・ 事業費にかかる出費が大幅に減少（旅費、会議・研修の会場費）した。
- ・ Web会議は費用減の効果があり、今後もWEB会議を活用する。

④自動車リサイクル業界への影響

- ・ 従来この業界は自主独立気風が強く、まとまりにくいといわれてきた。今回本事業の推進に業界最大団体JAERAの協力が頂けたことは、業界の中に協調の流れを作り出す契機になると考える。

3、現状の課題と想定される解決方法

本事業の初年度取組で明らかになった課題は、サイトの機能向上と利用促進であり、解決のため次の事項に取り組む。

①マッチング機能を高める。

(初年度の機能)

- ・ 見学希望の地域、時期、人数、工場情報を閲覧できるがそののみ。
- ・ 見学実施に至らない場合記録として残らない。

(次年度の機能)

- ・ 見学問合せフォームに見学者情報インプット機能を追加する。
- ・ 希望に沿う工場の検索機能を追加する。
- ・ 見学に至らない場合の情報をデータベース化する。

②受入企業数の増加

サイトマップ内の企業数を47都道府県の半数以上まで確保する。

③新規見学希望者数の増加

(手段) チラシ送付«サイト開設案内とバーチャルオンライン見学案内»

(送付先) 受入工場所在地周辺の教育委員会と学校宛て

4、次年度以降の事業計画変更案の有無

2020度の事業結果並びに遂行経緯をふまえ、2021年度は以下の通り当初計画を変更したい。

【当初計画】

2021年度
サイトの受入企業数の目標50社
見学者数：12,000人
2022年度
サイトの受入企業数の目標100社
見学者数：20,000人



【変更計画】

2021年度
サイトの受入企業数の目標25社以上
見学者数：6,000人
2022年度
サイトの受入企業数の目標50社以上
見学者数：10,000人

【当初計画】

- ・2020年度計画でサイトをPRするチラシの作成経費18万円を計上したが、作業項目に記載しない不備があった。
- ・2年目2021年度計画では、パネルを各社2枚を作成することとし、経費30万円を計上した。



【変更計画】

- ・チラシ作成は2021年度に見学来訪を呼び掛ける必要なアイテム。前年の経費を改めて計上する。
- ・パネル作成は当初の計画通り2021年度に取り組む。（経費に変動なし）

4、次年度以降の事業計画変更案の有無

2021年度の計画変更理由

①数字目標の変更について

コロナ禍の今後が未だ見通せない。

初年度の受入企業数のアンケートで、これまで懇意にしていた経営者から、現状では受入拡大はできないとの返事と共に、この状況下で受入を増やすことはリスクを抱えることになり、BCP（企業存続計画）の上からも止めざるを得ないとの回答をいただいた。

回答に説得力があり、これ以上の呼び掛けは無理との思いを持った。

こうした状況の収束がない限り、受入企業を拡大することは無理があり、また声掛けも慎重にしたい。

JAERAの初年度調査で現在受入れを中止している企業等に呼び掛け、現状の17社を25社以上に増加したい。来訪者についてはバーチャル工場見学動画を使った見学とオンライン説明、及び出張講演（オンラインの場合あり）を含む数にする。

これまでの実績から工場見学の団体来訪者は先生に引率された小中学生が80%以上を占めており、教育関係者への呼び掛け、特に社会科研究部会の先生方に案内を続けて、実績を積み上げていきたい。

4、次年度以降の事業計画変更案の有無

2021年度の計画変更理由

②パネルとチラシの制作について

コロナの問題がある中で1年目の事業を実施したうえで、マッチングサイトやリアル見学の位置づけを再考すると共にチラシとパネルの作成の必要性について再検討した。

再検討の結果、以下の理由によりチラシとパネルの両者を作成する必要があるとの結論に至った。

②-1 チラシ作成の必要性和用途

想定したチラシの内容は、本事業で開設したマッチングサイトをPRするもので、見学を受入れる工場が立地する地域の教育委員会、学校へサイト制作の案内として使用する。

近年では見学来訪者の80%以上が小中学生の訪問となっており、先生に知っていただくことが必要かつ効果的で、チラシはそのために作成する。

コロナ禍が続く中で、教育関係者からバーチャル見学についての問い合わせも起こっている。バーチャル工場見学の開催と手順等についてもお知らせするチラシとする。

前年度制作サイトの案内とPR活動については、2021年度の主要事業として取り組む。

②-2 パネルの制作と用途について

想定したパネルの必要場面は、工場見学受入の時の最初の説明場面で、説明内容を見える化した図や統計で来訪者の理解を得ることができるし、効果的な説明ができる。

パネルの内容は、1枚は、小冊子との関連を考慮し、車検制度のある国とない国の割合と問題点を比較する。もう1枚は、日本のメーカーにより製造される乗用車の割合と使用後について考えていただく内容にする。

5、2021年度 事業計画 想定する事業の内容 ①

完成したサイトの利用促進が2年目の課題であり、また初年度事業の継続も求められる。

初年度作業項目①～⑦を基礎に2年目は下記の作業項目に取り組む。

- ①自動車リサイクル周知分科会：2年目は5回開催する。
- ②受入企業の開拓として初年度同様受入企業マップの充実に取り組む。
 - 1：サイトのマップを都道府県レベルに展開出来る工場数を確保する。
 - ・現在コロナで中止の企業へ見学再開を呼びかける。
 - ・業界の事業協組で工場見学を受入れている企業に参加を呼びかける。
 - ・マップ上の企業数を25社以上にする。
 - 2：サイト案内チラシを作成，教育関係者への呼びかけを開始する。
 - ・教育関係来訪者への呼びかけを教育委員会を通して行う。
 - ・バーチャル見学についてもチラシを作成案内する。
- ③WEB関係業務の修正と継続体制づくり
 - 1：サイトの機能を高める修正を施す。
 - 2：Facebookに定期的情報を送る体制を整え検索数を増加する。
 - ・担当者1名から体制として運用する。

5、2021年度 事業計画 想定する事業の内容 ②

④見学訪問者の満足度を高める取組

- 1：初年度制作の小冊子を増刷してバーチャル見学、オンライン講話にも備える。
- 2：自動車リサイクルの説明補助としてパネルを制作する。
- 3：見学受入の手引き（マニュアル）を修正し必要に応じて印刷する。

⑤継続運用業務（見学者月次集計、サイトの対応など）

- ・ YouTube、サイトの各種の検索数を始め、集計作業を続ける。
- ・ 新たにサイトマップに参加した企業からの要望等に対応する。

⑥見学受入れ担当者の研修と意見交換会を年2回開催する。 （上期7月、下期11月）

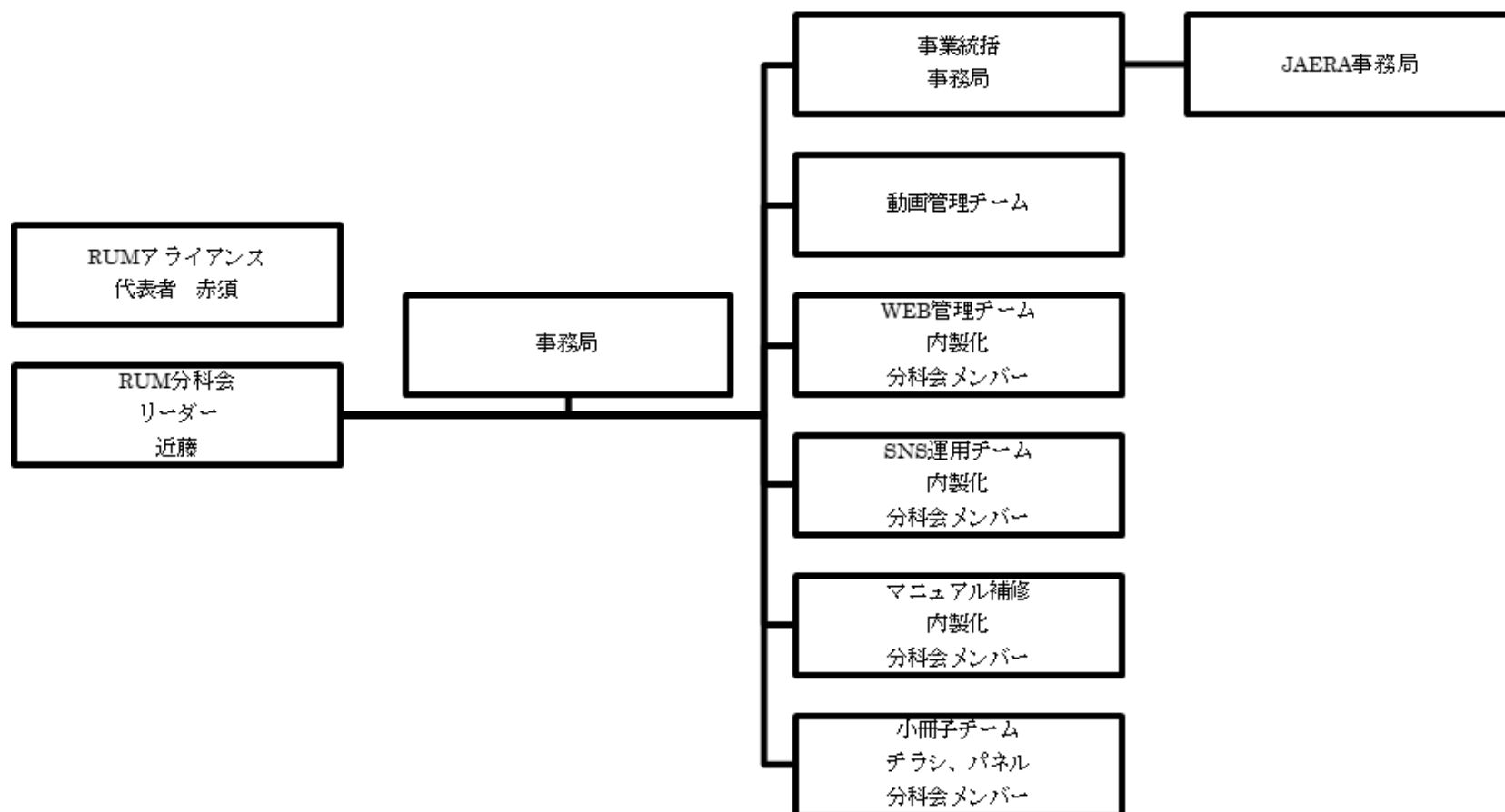
⑦その他

月次報告、報告書などの作成。各種の問い合わせ対応

5, 2021年度 事業計画

2021年度の事業実施体制図

2021年度の事業実施体制は現在の分科会を中心とする体制を維持する。



5. 2021年度 事業計画

作業項目	計画/実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
自動車リサイクル周知分科会	計画													年5回、うち2回は集合会議
見学受入企業開拓 -1	計画													年間
教育関係者への呼びかけ、チラシ作成、送付 -2	計画													チラシ外注
WEB関係業務、サイト修正 -1	計画													ツインウェブ社
WEB関係Facebook、YouTube -2	計画													
顧客満足度小冊子の増刷配布 -1	計画													外注
受入手引きの修正印刷 -2	計画													外注
パネルの作成 -3	計画													外注
継続集計業務	計画													
受入担当者研修	計画													7月、11月
その他	計画													報告書等

5. 2021年度 事業計画

			2020年度														2021年度		2022年度	
作業項目			計画/実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	前期	後期	前期	後期	
①	自動車リサイクル周知分科会	計画														年間5回				
		実績																		
②	-1 工場見学受入調査とマップ作成	計画														マップ作成				
		実績																		
	-2 受け入れ企業のマニュアル作成	計画															要印刷			
		実績																		
③	-1 WEB関係(動画作成)	計画																		
		実績																		
	-2 WEB関係(サイト作成)	計画															企業数により修正			
		実績																		
	-3 WEB関係(SNSとの連携)	計画															情報追加			
		実績																		
④	来訪者小冊子作成	計画															増刷			
		実績																		
⑤	各月見学受入実績集計と回収	計画														月次報告				
		実績																		
⑥	受入担当スキルUP研修	計画														7月	11月			
		実績																		
⑦	その他(報告書等)	計画														中間	期末			
		実績																		
	チラシの作成、教育委員会案内	計画														4月				
		実績																		
	パネルの作成	計画															9月			
		実績																		
※2020年度の計画は提案時の計画																				